



薩英戦争新聞紙

大槻磐石溪写

洋学文庫
文庫8
A 117



特
118
68

盤溪先生自寫本

蔭英戰爭新聞紙 有圖



大觀文庫

日本

横濱内容新聞

千八百六十三年八月廿五日即
文久三年癸亥七月九日也

陸州英學者松木孝庵譯

此度英國軍艦ノ跡シキ所為ハ下ニ記載セル如クニテ其軍艦ノ近海ニ到着
シタル便ヲ得タル時ニ最早之ヲ出板セントテ夫ニ用意シテアリケリ然ルニ今
朝右軍艦ノ當港ニ來着セルヲ以テシバク其出板ヲ見合テ余等ノ説ヲ慥ニ
取極ニト決定シタリキ 是迄我等ハ十分格別ナル事件ヲ毎日待兼テ居タリニ
漸ク逐一ノ説話ヲ聞キ實ノ報ヲ知ルヲ得タリ然ルニ是モ猶少ク疑フベキ處
モアリケレハ兩三日中ニ猶又委シキ説話ヲ得テ實ニ讀者ニ示サンヲ期スルニ
△爰ニ此教号ヲ加ヘタル繪圖ニ附テ説示サシ鹿島ノ圖ハ粗畧ナリト雖日本地圖
ヨリ寫セルモノニシテ十分正實ナルヲ疑ヒナシ薩摩及其近邊大隅諸州ニ寫シテ圖
ハ其國ノ產物ヲ前知セシ者ニ諸書ヲ參考セル人ヨリ予等ニ共ヘテ其者ナリ而
其第三圖ハイニルヤ又船ノ式人ヨリ得ル者ニテ是其提督ノ地圖ト比較參訂シ
タルニ甚精密ニシテ決シテ謬アルナシ爰ニ繪圖ニ顯ハセル砲臺ノ表目ヲ舉ルト左
如シ

第一號 三十二斤大砲八挺 臼砲二挺

第二號 三十一斤大砲三挺 臼砲二挺

第三號 臼砲三挺

第四號 未詳

第五號 八十二斤大砲二挺 三十二斤大砲九挺 野戰砲三挺

第六號 十八斤大砲三挺 三十二斤大砲五挺

第七號 十一斤大砲二挺 三十二斤大砲五挺 野戰砲一挺

第八號 十一斤大砲一挺 三十二斤大砲五挺 十八斤大砲一挺

第九號 十八斤大砲四挺

第十號 十八斤大砲三挺 三十一斤大砲四挺

第十一號 三十一斤大砲五挺

全曜日 出板前日 朝ニ英國ノ急使船コレモレシト當港ニ来着セリ是ハ當月十三日 上海ヨリ出板シタル由ニテ我等ニ第六月廿六日 書翰ヲ携来ルルリ△此コレモレシト船當月 十八日鹿兒島ヲ通行セシ折ニ英國軍艦ニ出逢タルヲ以テ其説ニ據リ手短ナリ別段新聞 ヲ著スヲ得ナリ△此モレシト船并ハハッホッ船ハ薩摩ニ於テ戰争ノ後ニ今朝當港ニ来着セリ

余等提督船ノ到着ヲ待受タリ是ハ讀者ニ公然タル事件ヲ告知セシテ願フヲ以テ然ル未其折ヲ得ズ奇事殊説ハ流布シ易ク因テ次ノ事件ハ公ニアラサレヒ 實説ナルヲ以テ之ヲ愛ニ記セリ

鹿兒島ニ趣キタル軍艦ノ内提督コフツルノ子ヲヤリヌ船ハ大砲三十五挺ヘル船 八十一挺アルモス船ハ六挺ヘルモス船ハ十七挺アルモス船ハ四挺ヘルモス船ハ四挺アルモス 船ハ二挺アルモス當月六月廿一日當港ヲ出帆シテ廿一日午後鹿兒島ノ港ニ着 船シタリ此鹿兒島港ハオスホルシ及ヒ其他ノ人委シク記載シタル其周圍廣濶ニ テ左ノ形状畫キタル如ク美シクシテ其要害モ亦攻撃スル所ナラサル者似タリ軍 艦鹿兒島ヲ遠ク離テ碇泊セリ此市街住民十八萬アリト云ヘリ其製造所 倉庫等ニ於テハ盛大ナル構營ナリ十二日軍艦其碇泊ノ場ヲ離レテ市街ニ向テ 其至場ヨリ凡ソ一千二百ヤルトヤルトノ處ニ諸船ヲ移セリ此所水深サニ尋 繪圖ニ第一ト記セルヲ以テ知ルベシ此至場ハ畫ク市街ノ正面ニ並列シ其廣サ 南際ヨリ北際迄凡ソ二里程モアリ其南際ハ圍ニ第一ト記シ北際ハ第八ト 記セリ△朝六時薩摩上等ノ士官數人提督船ニ来リケルガ其振舞衆 人見察スルニ平生執行フ所ノ礼仪作法トハ大ニ異ナリ其所為平穩ナラ

其體ナリ譬ハハ園中ノ虎其牧人ノ鞭ヲ提テ園ニ向ヒ來ルヲ睨視セルガ
 如シ然ルニヨリルニ此ハ之ヲ大ニ堪忍シ用心ヲ要トセリ或人ノ前見ニ是ハ
 必定兵器ヲ用ル機會ニ至ルベシ○薩摩ノ士等曰ク薩摩侯ハ當今
 鹿兒島ニ在ズシテ是ヨリ二十里隔リ名霧島ノ城内ニ在リトテ詰問書ヲ
 請取タリケレハ右書ノ答ハ此船中ヲ立退名ヨリ二十四時ノ間差出スニ
 ト申置タリ翌日ニ到リ諸軍艦諸事平生ノ如ク平穩ナレハヨリル
 ハ已ニ委任セラレシ外國事務ナルヲ以テ煩用ナレハ右ノ返書延引スル間ニ
 暫ク他事ニ取掛リタルガ薩摩ノ役人共不分明ナル返書ヲ持參セリ
 取留タルトモ無之且ハ速ニ立返シ○十三日午後約束ノ時刻大移名
 頃ニ一人ノ士官來リ云ヒケルハ答書ヲ持參セシカ陸離シ名所ニ此使者
 來リテ此返書中ニ相違アリトテ持歸レリ又直ニ他人來ルトトテ間モナク
 我船中ヲ立去タルガ誰一人モ參ラス漸ク夜九時ニ至リテ尤肝要ノ書ヲ
 贈レリ此書ハ新聞紙ニ載セテ後者ニ示サントテ余等又シク希望スル所リ
 コロ子ルニ此ハ此時ニ至リテモ猶堪忍ヲ加ハタルニ十日ハ時頃役人四人

船ニ來リテ此挨拶ヲ聞ントテ左ニ述タリ○京師ニテ一橋公并ニ
 老中二人島津三郎ニ聒ト達セシハ三郎ノ後臣外國人ヲ殺害シタル
 事ニ付薩摩ニ於テ取扱フコトアラズ幕府ニ於テ諸件取扱フナレハ
 今考フル於テ既ニ事ノ整ヒタルト思ヘリ然ルニ江戸ヨリ此事件付何ノ
 沙汰モナク軍艦薩摩ニ來レルハ何事ナルカ初ヨリ解シガタシ日本
 ノ法律規則ニ從フ時ハ薩摩自己ニ事ヲ處置スルノ權威ナシ英國
 ノ詰問書ヲ取用ルル又用ヒサル自己ニ計ラフベキアラズ△平和ニ
 處置スル希望ハ更ニ絶ヘテ唯欺偽ヲ旨トスト思フニ因リコロ子ルニ此ハ
 最早事ニ拘ハラズ提督事務ヲ握リ十四日午後諸軍艦盡ク備ヲ
 立直シ其内大ナル者ハ其堂場ヨリ離レテ瀬戸ノ中央ニ於テ双方ヨリ
 千七百ヤルト宛隔テ島間ニ船ガリセリ右堂場ハ繪圖ニ第二下記
 シタルヲ見テ知ルベシ○コルヤタス船備ヘテ改ムト雖モルニ是ハ船ト共ニ
 其場ヲ離レズ十五日朝ペル船コソツテ船アルギタス船ハハツク船及ヒ

リースホル船ハ港内ニ進ミ又近邊ニ碇泊セル薩摩ノ蒸氣船三艘ヲ
 質トシテ取押ヘタリ其船号ハエングラ下云ル者千八百六十一年
 拾二萬元ヲ以テ薩摩ニ買入今一艘ハジュールシケレト云ル者ニシテ
 四萬元ヲ以テ買求又一艘ハコシテト云フ此年第五月八萬元ニ買入
 多ク此三艘碇泊ノ場所ハ圖面ニ載セザレモ岬ノ後ニ繋リタルト
 知ベシ○此日早朝ヨリ大風ナリシガ其勢次第ニ烈シク激浪ヲ起シ刺
 ヘ暴雨降リテ港内ヲロキ有様ナリ十時ニ至リテハ上文ニ載名英
 船モ薩船モ共ニ其列ヲ変セリ十二時ニ諸人悉ク午食ニ就テ何ノ
 備ヘモナカリシニ突然トシテ陸地ノ臺場ヨリイコールヤリヌ船ニ砲發
 シ島ノ其臺場ヨリベルキス船ニ打掛タリ是ニ於テ兼テ質ニ取リ蒸
 氣船三艘ヲ燒打セリ尤乗組ノ者ハ其以前ニ陸ニ送り返セリ
 蓋シ上等ノ士二人ノ内一人ハ以前歐羅巴使節ニ從屬セル者ナリト
 頓テ諸船悉ク錨ヲ上ケ戰隊ヲ布キベルキス船ヲ戰ヒ始メ敵ヲ放

發ニ應ニシテ軍法ヲ乱サズ一ニ之ヲ撃チヌクメテ敵ニ近クナリシカバ
 又他方へ乗移シ其臺場ニ向テ戰備ヲ整ヘタリ敵ノ臺場十ヶ所ヘハ
 諸船各四百ヤルトノ距離ニ在テ備ヘコルヌ船ハ獨リ二百ヤルトノ距離
 ニ在テ極北第八番ノ臺場ヨリ戰ヲ始メ圖中點線ヲ以テ示スル如
 ク徐ニ轉行シテ第一番ノ突出セル其臺場ニ及ヘリ其中絶間
 ナク殊ニ劇シク打合タリ夜ニ入テ我軍艦ヨリ破裂彈丸ヲ以テ
 市街諸部ヘ打掛ケシ其三堡ハ已ニ放發ヲ止メタリ是ニ於テ
 諸船ハ各其碇泊場ヘ引取リシガ獨リノスホル船ハ第八番ノ臺
 場ヨリ二百ヤルトノ内ニ備ヘテ其臺場ノ力竭キ放發ヲ止ル迄之
 ヲ攻メ真ノ英國軍法ヲ以テ功績ヲ顯ハセリ此時之ヲ助ケシメシテ
 アルギヌ船ヲ操出シケレハ他ノ一臺場ヨリ放發セル彈丸ノ中間ニ
 在テ戰フ一凡一時計其後遂ニ其功ヲ果セリ○是日十五日
 土曜ニテ終日暴風雨ナリシ此時我損失ハ死者十一人傷シタ者

三十九人ナリ其死タル者ノ内ニテ諸人ノ悲嘆セルハ提督船ノ
 甲比丹ジョスリン也此人平生其勇猛凶類ナク英國將士之鑑
 ニシテ諸人之ヲ尊敬セザルハナシ指麾官エドワルト岸ルモ同ク
 勇名アリシガジョスリント共ニ一彈丸ニ中リテ死セリ此兩人ハ戰爭
 ノ中間三時^{我三十分}提督船ノ甲板ニ立シガ彈丸端船ヲ貫キ
 来テ立處ニ兩人ヲ打殺セリ提督ハ上官ト共ニ甲板ノ狭キ方ニ
 在シカバ右甲比丹ノ撃レシ時不思議ニ其彈丸ノ害ヲ免レタリ
 ○第九時頃ハ市街ノ一方火焰熾シナリ○翌日天氣快晴
 十一時ニ兩將水夫七人ノ死骸ヲ取收メシメ軍艦ハ砲發セシ島
 ノ砲臺ニ近寄テ出船セリ○英軍艦ノ敵方ヲ敗リタル働キハ
 驚クヘキ有様ナリ○宮殿製造所器械藏及倉ヲ始トシテ
 全ク市中悉ク破碎セシハ疑フヘカラス又諸軍艦モ甚損傷

セリ初ニハ此軍艦ヨリ戰爭ヲ仕掛タレモ第二日目ニ軍艦此前三
 通行セシ寸ハ一ヶ所ノ軍艦ヨリ一彈丸ヲモ放發セズ○燒打シタ
 薩摩船ハ其價二十四萬五千元ニテ其内分餘ノ殘金近コト拂濟
 ニ及ビシ者ナリ○日本製ノ船モ數多破損セリ日本人ハ戰爭ノ間
 久シク大砲ヲ能取扱ヒタリト云フ然モ我船敵方へ接近シタ時
 稍ニ退キタル様子ナリ○日本人ヨリ打放スル彈丸ハ十三インチ
 及ヒ八インチノ暴母丸ニテ大砲四挺ハ百五十斤十挺ハ八十斤其餘
 三斤等ナリ○戰爭ノ様子委細ニ辨解スル時ヲ得ズ我等
 既ニ我大砲ノ能働キテ驚クヘキ勇猛ヲ顯シタルヲ聞ケリ我
 等前ニ云ヘル如ク我軍艦敵方ヲ相距ルニ僅ニ二百ヤルノミナル
 一儘アリテ甚接ニ放發シタルヲ考フレバ我船ノ受タル損失ノ
 稀ナルハ驚クヘシ斯ク接近スルニ因テイタルヤマ船最多ク損

傷ヲ得多ク且此船ノ端船及ヒ綱具ノ損失甚シ○イニヤリマ
船損失表 死人拾人傷人二十一人△ヘル船傷人七人△アルギ船
傷人六人△コリマテ船死人二人傷人四人△レスホク船傷人三人△レス
船死人一人傷人九人△コキルニル及ヒ其後者ヲ殷勤ニ招待セガ
為ニ海岸ニ設ケタル場所ニテ應接ノ時ニ臨テ彼其後者ト
共ニ謀ルヘキ種ニノ困難ナル要務モ託セラレタリ然ルニ金等之
ヲ及ニ記スルヲ畧セリ△此後如何ナルヲ以テ此暴逆ナル
諸侯ヲ處置アルヘキヤ今茲ニ之ヲ辨解スルハ無益ナルベシ
○薩摩ノ堡砦ニテ用ヒタル彈丸藥ハ必好品ノ物ナリ又我方
ニテ費シタル彈藥ノ量夥シキナリ且未事定マラザリ故ニ
コロモラ下船ハ必船多クノ彈藥ヲ貯ヘテ到着シタルヲ余等深ク

賀セリ△薩摩ノ決議ヲセシ帝ニ對シテ面目ヲ失ハザラ
セシメンガ為ニ各諸侯ヨリ使節ヲ薩摩ヘ送り助力セント
決定シタリ○其内容ナル報告ハ松平越前守得タリト
云フアラレ其説話長文ナレバ今爰ニ略スルナリ

大槻文庫

此新聞紙譯ハ江戸津田東洋ハ七月二十一日出
八月三日仙臺列着即刻政写 船漢老人識

文之
審言
復理
日才
糸不

老之

在
壹
才
林
丘
齋



